

■考古学ニュース&トピックス■

□奈良県橿原市の初代天皇の墓とされる「神武天皇陵（四条ミサンザイ古墳）」付属地の発掘調査で、地表から2メートル余り掘り下げたところ、江戸時代の水田跡などを確認。また、近代の造成土から、縄文～弥生時代の土器や古墳時代の土師器の破片、大正5年に鑄造が始まった一銭青銅貨などが出土。



(NHK 12/9)

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/k/nara/20221209/2050012343.html>

(産経新聞 12/9)

<https://www.sankei.com/article/20221209-RB5LLEREUBLFPNS45ITU6WLLJU/>

□徳島県阿波市土成町の5世紀半ばの県内最大規模の円墳「土成丸山古墳」から、墳頂から埋葬施設とみられる緑色片岩の板状石材3枚が出土。石材は蓋石と推定され、竪穴式石室と想定していたこれまでの埋葬形態とは異なる箱式石棺の可能性が浮上。また、このほか墳丘部から円筒やアサガオ、甲冑をかたどった埴輪片が出土。



(読売新聞 12/9)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/tokushima/news/20221208-OYTNT50128/>

□長崎県壱岐市芦辺町の弥生時代の墓域が確認されている「原の辻遺跡」の北に位置する「閩繰（みやくり）遺跡」で、これまでに中世や弥生時代の人々が生活していた痕跡を確認。



(長崎県 12/9)

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/584443/index.html>

□青森県つがる市の「田小屋野貝塚」で、新たに縄文時代前期の竪穴建物跡3基を発見。



(東奥日報 12/10)

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1443796>

□青森県上北郡七戸町鉢森平の「鉢森平（7）遺跡」で、縄文時代後期の土坑から飾り、弓の一部である可能性が高い糸が巻かれた木製品出土。



(東日報 12/10)

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1444452>

□栃木県下野市薬師寺の国指定史跡「下野薬師寺跡」の西側にあたる「」で、同寺建立に関わった下毛野一族の邸宅の可能性が高い廂を持つ掘立柱建物跡を発見。



(下野新聞 12/10)

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/671422>

(下野市)

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/0059/info-0000008128-0.html>

□鹿児島県の徳之島で11世紀後半に生産された琉球列島に広く流通した硬質陶器「カムイヤキ」について、製法や分布範囲が13世紀

中頃を境に二分されることが判明。前期の器(A群)は高温で硬く焼き締められ、中国産白磁や西九州産の石鍋とともに出土していることから、日宋貿易の拠点だった博多との関係が浮上。13世紀後半以降(B群)は、強度が弱く厚手で仕上げも粗く、分布域は奄美大島以南に限られ、博多の影響を離れて在地化へ。



(読売新聞 12/10)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kyushu/news/20221209-OYTNT50102/>

□奈良県橿原市の県立橿原考古学研究所(橿考研)附属博物館で、1972年の発掘調査で作製された「高松塚古墳」の墳丘や遺物の出土状況を記録した原図65枚が保管されていたことが判明。



(読売新聞 12/11)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/nara/news/20221210-OYTNT50217/>

■ イベント速報 ■

【現地説明会・見学会】

<12月17日>

□令和4年度原の辻遺跡(閩線遺跡)発掘調査現地説明会

長崎県埋蔵文化財センターでは国特別史跡原の辻遺跡の調査を毎年継続して行っており、令和3年度と令和4年度は原の辻遺跡の北に位置する閩線(みやくり)遺跡で発掘調査を実施しています。

閩線遺跡は、過去の調査で弥生時代の墓域が確認されています。昨年度と今年度は、墓域の周辺地点での土地利用状況の解明を目的に調査を行っており、今までに中世や弥生時代の人々が生活していた痕跡を確認しています。

日時: 12月17日(土) 13:00~15:00

場所: 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 867-1

問い合わせ: 長崎県埋蔵文化財センター

(電話: 0920-45-4080)

→

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2022/12/1670211190.pdf>

<12月25日>

□国指定史跡「結城廃寺跡」発掘調査現地説明会

現在、結城市上山川・矢畑地区において、国指定史跡の結城廃寺跡の発掘調査を実施しています。発掘調査では、奈良時代から室町時代ごろまでの寺院の痕跡(遺構)や土器・瓦など(遺物)が見つかりました。なかでも、軒廊(こんろう)と呼ばれる、講堂と僧坊の間に建てられた屋根付きの通路の跡が確認されました。

また、寺院の屋根に葺かれていた多量の瓦をはじめ、土器、墓石などの遺物が出土しました。

以上の成果を公開し、地域の歴史と文化財の魅力についてご説明するため、下記のとおり現地説明会を開催いたします。

日時: 12月25日(日) (1)午前の部 10:00~11:30

(2)午後の部 13:00~14:30

※小雨決行、荒天中止

集合場所: 上山川就業改善センター(茨城県結城市上山川乙38)

定員: 各回100名

【申込方法】

(1)参加される方の氏名(同行者も全員分)

(2)電話番号

(3)住所

(4)見学希望時間(午前または午後)

を下記申込先まで電話、ファックスまたはメールでご連絡ください。

※先着順となります。定員になり次第、受付終了となります。

申込期間：～12月22日（木）17時15分まで

<申込先>

結城市教育委員会生涯学習課文化係

電話：0296-32-1931

Fax：0296-33-3144

mail：syogaigakusyu@city.yuki.lg.jp

→ <https://www.city.yuki.lg.jp/page/page008346.html>

■ イベント速報 ■

【講座・講演会・シンポジウム・その他】

<12月17日>

□日本城郭史学会・12月度 セミナー

「国持大名島津氏の本城、鹿児島城を見直す」

鹿児島城は合戦覚悟で築城され、その思いは受け継がれて近年の御楼門復元を機に見事に甦った。

日 時：12月17日（土）15：00～17：00

講 師：三木 靖（南九州城郭談話会会長）

場 所：板橋区グリーンカレッジホール3階 教室1A

（東京都板橋区志村3-32-6）

交 通：都営三田線志村三丁目駅徒歩8分

費 用：会員 1000円、会員外 1500円

【申込方法】

お申込みは、こちらのフォームよりお願いします。↓

<https://castle-history.jp/eventorder/>

※メール、お電話でもお申込み可能です。

<申込先>

日本城郭史学会事務局

〒174-8691

東京都板橋区板橋北郵便局私書箱第50号

電話：03-3967-1948

E-mail：castles@fb3.so-net.ne.jp

→ <https://www.castle-history.jp/news/20221015-2/>

□古代学研究会12月拡大例会「首長墓系譜の再検討」

首長墓系譜について政権との関係、埋葬施設構造・墳丘築造企画の伝承、副葬品の伝世などの視点から検討を行い、古墳時代の地位継

承がどのような社会的背景・慣習のもとに行われていたのか議論を行う。

日 時：12月17日（土）10：00～16：30

会 場：大阪歴史博物館4F 講堂

（大阪府大阪市中央区大手前4丁目1-32）

交 通：Osaka Metro 谷町線・中央線 谷町4丁目9・2号出口

参加費：無料（資料代は有償）

※事前申込不要

<問い合わせ先>

古代学研究会

e-mail：riks26890@gaia.eonet.ne.jp

※問い合わせ先は大阪歴史博物館ではありません。ご注意ください。

■ 内容 ■

基調講演「古墳時代の政権と首長墓系譜」

田中晋作（山口大学）

テーマ別報告

「埋葬施設からみた古墳時代前期・中期の首長墓系譜」

上田直弥（大阪大学埋蔵文化財調査室）

「埋葬施設からみた古墳時代後期の首長墓系譜」

太田宏明（河内長野市教育委員会）

「副葬品からみた古墳時代前・中期の首長墓系譜」

岩本 崇（島根大学）

「副葬品からみた古墳時代後期の首長墓系譜」

絹島 歩（奈良県立橿原考古学研究所）

「墳丘築造企画からみた首長墓系譜」

木許 守（龍谷大学）

事例検討「岩橋千塚古墳群における首長墓系譜」

瀬谷今日子（和歌山県教育委員会）

討論

紙上参加：

「中世在地領主制との比較」

永野弘明（大阪大学大学院 博士課程後期課程）

→ <https://kodaigaku.tuzikaze.com/2022.pdf>

<12月18日>

□第37回 国際生物学賞記念シンポジウム

「人類の誕生と地球の未来」

日 時：12月18日（日）13：00～17：50

会 場：東京大学本郷キャンパス 大講堂（安田講堂）

（東京都文京区本郷7-3-1）

参加費：無料

定員：400名。※事前の参加登録は不要。

■内容■

「ホワイト博士と人類進化研究」

諏訪元（東京大学）

「Integrating the Physical, Social, and Biological Sciences

to Illuminate Human Emergence/人類の成り立ちを地球・社会科学と生物科学の融合から探る」

ティモシー・D・ホワイト（カリフォルニア大学バークレー校）

「ボノボから学ぶヒトの進化：メスたちがつくる平和社会」

古市剛史（京都大学）

「中新世アフリカの類人猿進化：類人猿って何？」

中務真人（京都大学）

「歯の形態から探る人類の進化」

河野礼子（慶應義塾大学）

「サル歩行分析から探るヒトの直立二足歩行の進化」

荻原直道（東京大学）

「言語の起源を探る」

井原泰雄（東京大学）

「ゲノム情報からみた人類進化」

高畑尚之（総合研究大学院大学）

<問い合わせ先>

第37回国際生物学賞記念シンポジウム事務局

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻内

Email：ipb2022@kuba.jp

→ <https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/37ipb-symposium/>

<12月24日>

□山野貝塚講演会

袖ヶ浦市飯富に所在する山野貝塚は縄文時代後期から晩期に営まれた遺跡です。縄文時代以降は大きな土地の改変を受けていないことなどから、平成29年に国史跡に指定されました。

今回の講演会では、山野貝塚と近接する宮ノ越貝塚の発掘調査成果の報告や、盛土遺構・中央窪地の最新研究を踏まえて、山野貝塚とはいったい何であったのかを追求したいと思います。

日時：12月24日（土）13：30～15：45 ※12:30開場

場所：袖ヶ浦市民会館大ホール

（千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1566番地）

定員：先着200名※要申込

参加費：無料

■内容■

・「山野貝塚発掘調査について」

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課職員

・「宮ノ越貝塚発掘調査について」

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課職員

・「環状盛土遺構・中央窪地とは何か」

阿部昭典（千葉大学教授）

【応募方法】

下記の応募先の電話または申込フォームにてご応募ください。

応募期限：12月22日（木）まで

※期限前でも募集人数に達した場合は応募を締め切ります。

<応募先>

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課

電話：0438-62-3744

→

https://www.city.sodegaura.lg.jp/uploaded/life/58122_153407_misc.pdf

<12月25日>

□房総城めぐり余話「小金城跡と周辺史跡、

松ヶ崎城跡など柏の城跡、白井城攻防戦他」

東葛地域は、戦国時代は小金城の高城氏が勢力を張りましたが、最初から高城氏一色でもなく、様々な勢力の角逐がありました。

今回は、房総の城めぐり話の一環として小金城跡と周辺史跡、柏の松ヶ崎城跡などの城跡について紹介しますが、柏の境根原であった合戦に引き続いた、白井城攻防戦に関しても少し考えてみたいと思います。

日時：12月25日（日）13：00～15：00

会場：アミュゼ柏 2F 会議室B（千葉県柏市柏6丁目2-22）

参加費：300円（資料代など）

※申込不要ですが、受付時名簿に記入頂きます。

<問い合わせ先>

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

e-mail：info@matsugasakijo.net

<要事前申込>

□博物館入門講座3「瓦を学ぶー伊勢国府の瓦ー」

史跡伊勢国府跡から出土した軒瓦の文様や作り方について学びます。

日時：1月15日（日）13：30～

講師：吉田真由美（当館学芸員）

場所：考古博物館 講堂

定員：30人（応募者多数の場合は抽選）

聴講料：無料

※博物館入門講座に参加の方は、常設展を無料で観覧できます。

【申込方法】

12月22日(木)まで(必着)に、

講座名、希望者の住所・氏名・電話番号を記入の上、

ファクス、往復はがきまたは電子メール

で考古博物館(〒513-0013 国分町 224)へ

※往復はがきの場合は、返信の宛名面に代表者の住所・氏名を記入

してください。

※1回で2人まで申し込みできます。

<申込先・問い合わせ先>

鈴鹿市考古博物館

〒513-0013

三重県鈴鹿市国分町 224

電話：059-374-1994

Fax：059-374-0986

メールでの申し込みは↓

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kouko/contact/>

→ <https://www.city.suzuka.lg.jp/kouko/information/files/000176.html>

[%e4%bc%9a2022%e3%80%8e%e5%8f%a4%e5%a2%b3%e3%81%ae%e7%99%ba%e6%8e%98%ef%bc%8d%e8%91%ac%e9%80%81%e5%84%80/](https://www.city.suzuka.lg.jp/kouko/information/files/000176.html)

<広島県>

□ミニ展示「神辺の首長墓 亀山第1号古墳」

会期：2022年12月9日(金)～2023年1月31日(火)

会場：広島県立歴史博物館

(広島県福山市西町 2-4-1 電話：084-931-2513)

→ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/minitenji-r04.html#kameyama>

<熊本県>

□くまもと市遺跡発掘速報展 2022

会期：2022年12月10日(土)～2023年2月19日(日)

会場：熊本市立熊本博物館

(熊本県熊本市中央区古京町 3-2 電話：096-324-3500)

→

https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=45778

■イベント速報■

【企画展ほか】

<青森県>

□展示会「発掘された津軽氏城跡」

会期：2022年12月14日(水)～18日(日)

会場：鯨ヶ沢町中央公民館 2階 大会議室

(青森県西津軽郡鯨ヶ沢町本町 209-2 電話：0173-72-2859)

→

https://www.town.ajigasawa.lg.jp/about_town/koho/kohoajigasawa_new_files/619.pdf

<滋賀県>

□レトロ・レトロの展覧会 2022

「古墳の発掘―葬送儀礼の実像に迫る―」

会期：2022年12月12日(月)～2023年3月31日(金)

会場：滋賀県埋蔵文化財センター1F ロビー

(滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2 電話：077-548-9681)

→ [http://shiga-](http://shiga-bunkazai.jp/%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%83%bb%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%81%ae%e5%b1%95%e8%a6%a7)

[bunkazai.jp/%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%83%bb%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%81%ae%e5%b1%95%e8%a6%a7](http://shiga-bunkazai.jp/%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%83%bb%e3%83%ac%e3%83%88%e3%83%ad%e3%81%ae%e5%b1%95%e8%a6%a7)

◆発行◆『考古学通信』

→ <http://kouko.so-hot.jp/arcinfo/>

E-mail：arkhaiologia@kouko.so-hot.jp

*お問い合わせは、メールでご連絡下さい。